

三島駅南口東街区

「再開発中止、見直しを」

GW三島が市民検討会で市財政圧迫を懸念

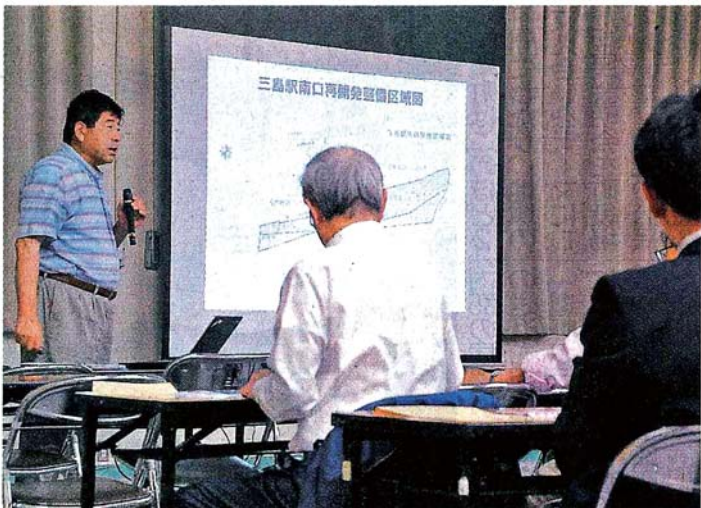
NPPO法人グラウンドワーク三島（GW三島、小松幸子理事長）は、6日夜に開いた「三島駅南口東街区の整備を考える市民検討会」で、市が選定した共同企業体（JV）と地権者の協定締結前に、再開発計画の問題点を挙げて中止、見直しを訴えた。

「市有地、市民が地主」

同NPPOによると、公共施設の整備費も必須事業費220億円の要なため市財政の圧迫、破綻を懸念。さら

の低下を挙げた。同NPPOの渡辺豊博専務は「整合性の取れた開発をしたい。市有地は市民が地主。声を上げないと既成事実をつくられ、押し切られる可能性がある」と話した。さらに「水と文化」で世界文化遺産への調査に着手する考えも示した。

検討会には約20人が出席。参加者から「駅前でデモをしてはどうか」「協定締結後にひっくり返すのは困難なのか」などの意見や質問があった。



三島駅南口東街区再開発事業の問題点を説明する渡辺専務。三島市の社会福祉会館

検討会は10日午後2時半から、市民文化会館でも開く。問い合わせは同NPPOへ電話055(983)0136へ。